

## 1 位置・地勢

市の面積は、230.70km<sup>2</sup>で、県面積の5.5%を占めています。人口は82,982人（住民基本台帳H29.4.1現在）で、県人口の約1割を占めています。

市は、東部を越前中央山地、西部を丹生山地、南部を「越前富士」として親しまれている日野山（795m）など、400～700m級の山々に囲まれ、森林は市域の6割を占めています。

市街地は、武生盆地の旧武生市の中心部と、旧今立町の中心部に形成し、その周囲及び山沿いに多くの集落が点在しています。武生盆地の中央を県内三大河川の一つである日野川が南北に貫流し、九頭竜川と名を変えて日本海に注いでいます。旧今立町内を流れる河川は鞍谷川に入り、福井市内で日野川に合流しています。

気候は、夏には高温多湿、冬には山間部で降雪量が1mを超えることもある日本海側特有の気候です。



越前市役所 福井県越前市府中一丁目13番7号 (〒915-8530 Tel.0778-22-3000)  
今立総合支所 // 粟田部町第9号1番地の9 (〒915-0292 Tel.0778-43-1111)

## 2 歴史・沿革

越前市は、平成17年10月1日、福井県のほぼ中央に位置する旧武生市と旧今立町の両市町が新設合併し誕生しました。伝統産業から先端産業まで幅広い分野で企業等が立地する県下有数の産業都市です。

越前市は、今から1500年前（西暦507年）に継体天皇（26代）に即位された男大迹王のロマンスが描かれた世阿弥の謡曲「花筐」の舞台として、また中臣宅守と狭野弟上娘の愛の相聞歌が「万葉集」に63首も収められていることから、灼熱の恋の舞台としても知られています。大化改新の後、武生盆地には越前国の国府が置かれ、越前を中心地として栄えました。越前国府に赴任した国司は都に戻ると政治の中枢で活躍していることから、重要な国であったことがうかがわれます。また「源氏物語」の作者、紫式部が、996年に越前国司となった父の藤原為時とともに生涯でただ一度都を離れて暮らした地でもあり、この地での経験が紫式部の生涯に大きな影響を与えたと言われています。万葉の里・味真野苑や紫式部公園は、このような歴史と文化を伝えています。

市域には往古より、北陸道や朝倉街道が南北にはしり、新田義貞や斯波高経、織田信長など名だたる武将が押さえたがった交通の要衝でもありました。近世の府中（武生の旧称）は本多氏の城下町として、粟田部は在郷町（地域の物資の集散地・輸送ルートの拠点）として、商工業や町人文化が栄えました。近代に入ると、明治国家のプランナーとして活躍した渡辺洪基や、近代医学の権威である土肥慶蔵などの、日本や世界に雄飛した逸材を輩出するなど、学問や教育、文化、政治、経済の面でも先導的役割を担ってきました。

一方、千数百年に遡ると伝えられる伝統的工芸品、越前和紙は、手漉き和紙では日本一のシェアを誇り、700年の匠の技を継承する越前打刃物とともに、その伝統と優れた品質は世界的にも注目を集めています。越前市は、このような歴史と伝統文化が連綿と引き継がれています。

また、今日まで郷土の発展のために労を厭わなかった先人の努力によって、越前市は日本の中でも住みよい都市の上位にランキングされています。豊かな自然と輝かしい伝統に生まれ、これからも丹南地域の中核都市として、さらなる飛躍を目指しています。

### 3 推計人口、面積等の推移

(各年10月1日現在・◎は国勢調査)

年次	面積(km <sup>2</sup> )		世帯数		人口(人)		備考
	旧武生市	旧今立町	旧武生市	旧今立町	旧武生市	旧今立町	
昭和23年	19.65		7,472		31,743		【旧武生市】 S23.4.1 武生市制施行 S25.1.1 吉野村合併 S25.7.7 国高村合併 S25.12.1 大虫村合併 S26.3.30 坂口村合併 S29.7.5 王子保村、北新庄村、北日野村合併 S31.9.30 味真野村合併 S34.8.1 白山村合併
昭和25年	35.54		8,875		40,328		
昭和26年	64.74		9,750		44,476		
昭和29年	112.61		9,862		54,466		
昭和31年	149.08	45.08	12,489	3,300	59,577	16,336	
昭和34年	185.32	〃	13,601	3,251	63,925	16,157	
◎昭和35年	〃	〃	13,600	3,327	62,610	15,872	
◎昭和40年	〃	〃	14,329	3,399	62,588	15,241	
◎昭和45年	〃	〃	14,924	3,457	62,019	14,701	
◎昭和50年	〃	〃	16,185	3,485	65,012	14,796	
◎昭和55年	〃	〃	17,296	3,501	67,104	14,838	
◎昭和60年	〃	〃	18,211	3,515	69,148	14,805	
◎平成2年	〃	〃	19,126	3,552	70,187	14,710	
◎平成7年	〃	〃	20,698	3,535	71,109	14,424	
平成8年	〃	〃	21,061	3,534	71,518	14,285	
平成9年	〃	〃	21,467	3,600	71,924	14,219	
平成10年	〃	〃	21,852	3,612	72,316	14,150	
平成11年	〃	〃	22,342	3,628	72,578	14,130	
◎平成12年	〃	〃	22,898	3,563	73,792	13,907	
平成13年	〃	〃	22,724	3,578	73,300	13,781	
平成14年	〃	〃	23,247	3,573	73,630	13,680	
平成15年	〃	〃	23,529	3,575	73,713	13,520	
平成16年	〃	〃	24,040	3,620	73,968	13,435	
◎平成17年	230.75		27,916		87,742		H17.10.1 越前市制施行
平成18年	〃		28,151		87,413		
平成19年	〃		28,314		87,163		
平成20年	〃		28,174		86,405		
平成21年	〃		27,992		85,925		
◎平成22年	〃		27,601		85,614		
平成23年	〃		27,766		85,314		
平成24年	〃		27,523		84,649		
平成25年	〃		27,499		84,024		
平成26年	230.70		27,663		83,591		
◎平成27年	〃		27,889		81,524		
平成28年	〃		27,949		80,973		
平成29年	〃		28,590		80,988		